

科目名 小児看護援助論Ⅰ	授業担当者 近江 薫 佐々木正吾 他	所属 中通高等看護学院 県立医療療育センター	
開講時期:中期	単位数:1 単位	時間数:30 時間	
<b>授業の目的</b> 健康上の問題を持つ子どもと家族が、生活・療養するための看護実践に必要な知識を身につける。			
<b>授業の概要</b> 健康上の問題は子どもの成長発達に大きな影響を与えます。小児看護学概論で学習した知識を基に、どのような影響を及ぼすのかを捉え、それらを最小限にするための関わりを学習します。 さらに、治療・処置は子どもにとっても健康回復のために必要なことです。しかし、大人では難く行われることであっても、子どもの場合はその子の成長発達に合わせた関わりが必要になります。子どもに行われる看護技術についていくつか取り上げ、基本技術の根拠と子どもの権利擁護や発達を踏まえた援助の在り方を学びます。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 教科書等をあらかじめ見て、学習する内容に関してイメージできていることが望ましい。 資料は必要時印刷して事前に準備すること。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	病気・障害をもつ子どもと家族の看護	講義	近江
2	入院中の子どもと家族の看護	講義	近江
3	外来における子どもと家族の看護	講義	佐々木
4	検査・処置を受ける子どもと家族の看護	講義	近江
5	在宅療養中の子どもと家族の看護	講義	佐藤
6	慢性期にある子どもと家族の看護	講義	近江
7	急性期にある子どもと家族の看護 子どもの救急救命処置	講義	近江
8	周手術期にある子どもと家族の看護	講義	近江
9	終末期にある子どもと家族の看護	講義	佐々木
10	子どもとのコミュニケーション	講義	近江
11・12 13・14 15	小児看護技術 グループワーク ロールプレイ (環境調整・日常生活援助技術・症状生体機能の管理技術等)	グループワーク ロールプレイ	近江
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版 山元恵子 写真でわかる小児看護技術～小児看護に必要な臨床技術を中心に～ インターメディカ			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 70 点 グループワーク・課題の提出物 30 点 合計 100 点で評価する。			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります